日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
# あした天気に な～れ
255号
2023年1月
部内資料
発行責任者　太田　勍　（62-5727）
議員連絡先　薄井　孝彦（62-5093）
服部　久子（62-4357）
編集責任者　山本　久子（61-1066）

## 今年の目標

### 憲法変えず 平和を守る
### 町議選 現有2議席を確保

新年明けましておめでとうございます。

昨年は参院選挙が行われ、長野選挙区では野党と市民団体の共闘が成立し、杉尾秀哉さんを擁立し自民新人などと激戦の末再選を果たしました。比例代表に共産党は武田良介さんの再選を目指しましたが、残念ながら落選となってしまいました。

後援会員やFCニュース読者の皆さまから大きな御支援・御協力をいただきましたが、全体では改憲勢力が3分の2を占める事態となりました。2月にはロシアがウクライナに侵攻し、悲惨な殺戮と破壊が続いています。これをきっかけに岸田首相は、日本の安全保障の指針を180度ひっくり返し、大軍拡に突き進んでいます。

国是である「専守防衛」を投げすて、敵基地攻撃能力保持、軍事費倍増し11兆円に拡大し世界第3位の軍事大国を目指すとしています。しかもこの大問題は密室での議論でどんどん推し進めて閣議決定し、国会や国民的議論が無いまま、日本の方針として米国などと会談している事です。こんな独走を許さない国民的運動を展開し、戦前の暗黒時代の再来を阻止しましょう。毎月第3日曜日13時から諸団体で「つるや」近くの街頭で皆さんに訴え（スタンディングアピール）を行っています。（写真）

4月23日には町議会議員選挙が実施される予定です。諸物価の上昇で暮らし圧迫、町財政の立て直し、農業問題などが山積しています。共産党は現職両議員を擁立してたたかいます。皆様のご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

コロナ感染拡大やロシアの侵略続行など波乱含みです。

本年もよろしくお願いいたします。

1月3日 ツルヤ前で宣伝

## ファンクラブ総会 お知らせ

「日本共産党池田ファンクラブ」の総会を下記の日程で行いますので、お誘いあってご参加ください。

日時　2月26日（日）
10時～12時
場所　多目的研修センター
（林中）
弁士　要請中

## コラム 有明

「高速道路を逆走」「ウィンカーを出さずに追い越し車線に進入」「横断歩道の手前で止まらず歩行者に接触」「ブレーキとアクセルの踏み間違え」など、高齢運転者をめぐる問題運転が後を絶ちません。▼後期高齢者の自分も「免許返納を考える時か」と思いますが、車のない生活になった時の不便さを想像すると決断がつきません。以前ある新聞に“地域に住む高齢者にとって「足」を失うのは死活問題”と掲載されていましたが、その通りだと思います。▼公共交通機関が発達していない地方では、コンビニやスーパー、医療機関など車で向かう必要がある場所も多く、こうした状況で車を取り上げると身体が虚弱体質になってしまう「フレイル」になったり、身体を動かさないために要介護度が重度化するといった新たなリスクも生まれるとのことです。自分も「後3年頑張って乗ることにしよう」と決心して高齢者テストを受けました。

# 2023年私の決意

**服部 久子**
（滝沢）
・池田町議会議員
・振興文教委員会委員長
・議会報編集特別委員会委員長
など歴任

新型コロナ感染症が4年目に入り、ロシアのウクライナ侵略も終わりが見えません。その上、物価高騰が今年も続く傾向です。

厳しい社会状況の中、岸田自公政権は、軍事費を2倍にすると決め、憲法9条を無視し、「敵基地攻撃」を容認しました。

日本は「専守防衛」を基本としてきました。日本の針路に関わる事項を、国会で議論もせず政権内で決めることは、戦前の軍国主義国家と同じやり方です。

今年は戦後78年です。このまま私たちが黙っていると今年が戦前になりかねません。軍拡の政治に声を大にして反対し、私たちの生活を守っていきましょう。4月に町議会議員選挙があり、立候補する決意です。今まで病児保育や食物アレルギー対応給食、子ども医療費の負担軽減など実現してきました。会染保育園存続や就学援助の充実、給食費の無料化など、これからも生活を支える要望実現のために活動して参ります。

**薄井 孝彦**
（3丁目）
・池田町議会議員
・議会運営委員会副委員長
・議会報編集特別委員委員長
など歴任

岸田政権は昨年の12月、「安保3文書」を閣議決定しました。この決定により日本は戦争する国に大きく踏み出します。外国の敵基地攻撃を可能とするトマホークなどの長距離ミサイルなどの整備は戦火を呼び込み、日本を破滅に導きます。また、43億円の大軍拡は社会保障の削減や大増税につながり、私たちの生活を破壊するものです。こんな危険な政治をやめさせるよう頑張っていく所存です。

また、今年4月には町議会議員選挙があります。町財政は義務的経費が予算の90%を占める財政構造になってしまいました。そのような中で会染西部ほ場の非農地整備や社口原農業継続などの事業に直面しています。

財政破綻をおこさないよう、議会の役割も重要です。財政危機を乗り越え、安心して暮らせ魅力ある町となるよう議員として頑張らせていただければ幸いです。

皆さんのご支援をよろしくお願い致します。

## 岸田政権の「原発回帰」は世界の流れに逆行

日本の原発は、2011年の福島第一原発事故を受けて、原発の運転期間を「原則40年、最長60年」と決めています。「可能な限り、原発依存を低減する」としてきた政府方針を覆して、岸田政権は新規原発建設推進や老朽原発の運転を認める、「原発回帰」に大転換を打ち出しています。

国会にもはからず国民的議論もなく、2回の国政選挙でも原発論議を避け続け、選挙が終わってから一気に進めています。原発一基建設には5千億円から1兆円は必要とされており、電力会社に新規建設の動きはありません。結局国が税金により新設する方針でしょう。原発が生み出す核廃棄物の処分先も見通しがつきません。老朽原発を酷使すれば、事故の危険性が高まります。「原発回帰」の行動指針は、世界の流れに逆行するのみです。

中島　牛越邦夫

## 文芸欄

今月は俳句です

孫4人てんやわんやの初湯かな　美ちこ
しなやかに光る黒猫寒の月　幸代
子らの手も大きくなりてお年玉　由美

## 介護保険の制度改定が狙われています。

見直しの具体的項目
▽サービス利用料の2割負担と3割負担の対象拡大
▽要介護1、2の訪問・通所介護の保険外し
▽ケアプラン作成の有料化
▽老健施設などの多床室（相部屋）の室料有料化―など。

詳しくは2月号でお知らせします。「介護」に関してのお困りごと、疑問などの声をお寄せ下さい。